

「恒吉小学校のそば切り踊り伝承活動の取組」

1 学校名

曾於市立恒吉小学校

2 学年・人数

1年生2人 2年生1人 3年生2人 4年生2人 5年生3人
6年生4人 計14人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和3年10月～11月 体育の時間、音楽の時間（本校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和3年11月19日（金）学習発表会（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

野町そば切り踊り（のまちそばきりおどり）

(2) 由来

「そば切り踊り」は、浅井の西川義雄が来て教えたといわれる。もとは青年たちが踊っていたが、恒吉農協婦人部長の能見すな子の肝煎りで、婦人たちが踊るようになった。

(3) 構成等

踊りは労働作業の踊りに分類され、そばをつくるところから売り歩き、売上を計算するところまでを7～8人が歌いながらユーモラスに踊る。楽器は、三味線と太鼓である。服装は、着物が紫地の絆纏型で袖は元禄袖、襟には両襟胸の所に金銀紙を交互斜めに貼る。着物の下に桃色のお腰をし、帯は伊達巻で頭にタオルをかぶる。仕草をする人は歌わないで仕草だけをし、周囲の踊り子が一緒に歌う。そして踊る人は、仕草と歌ごとに入れ替わる。

5 保存会や地域との連携の具体

令和元年度まで、野町そば切り踊り民芸保存会の方から、踊りや歌、太鼓などについて指導をしていただいた。また、そば切り踊りの練習・リハーサルの様子を見ていただき、歌い方、踊り方について助言をいただいた。（今年度は新型コロナ予防のため、保存会の指導は実施できず。）

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

本校の特色ある教育活動である「そば祭り」は、そばの収穫を祝って、地域の方々と子供たちがともに会食する活動である。「そば祭り」は、野町そば切り踊り民芸保存会の方々も来校されるよい機会である。そこで、「そば祭り」の際に、地域の方々に、方言を交えたユーモラスなそば切り踊りを披露することで、子供たちに、そば切り踊りがずっと受け継いでいく価値のあるものであることを実感できるようにしてきた。今年度は昨年度同様学習発表会で披露した。1月実施予定だった「そば祭り」は、新型コロナ予防のため中止となり披露できなかった。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



練習風景①



練習風景②



学習発表会①



学習発表会②

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【児童】

毎年いろいろな役ができるので楽しみです。みんなと楽しく踊れるのがとても好きです。

【保護者】

コロナ禍で観られない心配があったが、学習発表会で観ることができてよかった。

【教員】

本校の特色ある教育活動の一つとして、そば切り踊りを子供たちと取り組み、今後も本校の伝統として続けていきたい。